

研究テーマ: インドネシア国向けオールIPネットワークの円滑な移行に向けた国際技術調査(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2P-A21010)

研究機関: 日本電気(株)第二ネットワークソリューション(事)

研究の概要:

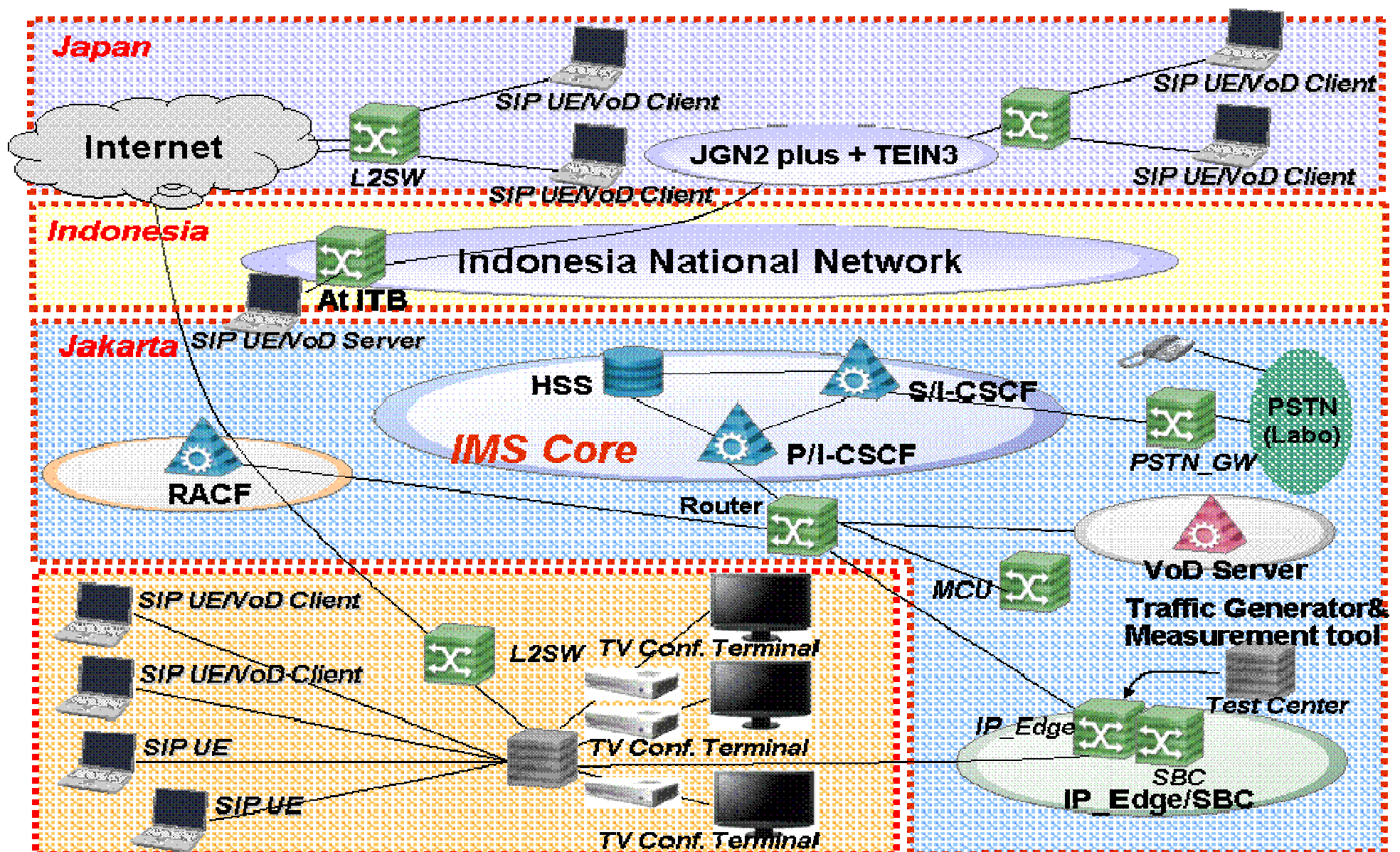
インドネシア国と日本国間をJGN2plusを用いて国際接続環境を構築し、NGNのコア技術であるIMSを用いて日本とインドネシア国間で、SIP端末の相互接続、映像配信サービス、及びテレビ電話会議システム等の動作確認を行う。

研究の目的:

JGN2plus使用して日本国とインドネシア国を結ぶ国際接続環境下において、IMS/NGNの基本機能及びサービスアプリの検証を行う。特に、QoS制御の動作確認、QoE評価方法の検証を行い、IMS/NGN機能の実効性を訴求する。

実験機器構成:

IMSコア、及びトランスポート機器はジャカルタ市に設置され、端末はジャカルタ市及び国際回線経由で日本に設置される。日本国とインドネシア国間は、JGN2plus及びTEIN3経由で接続される。



研究テーマ: インドネシア国向けオールIPネットワークの 円滑な移行に向けた国際技術調査(2/2) (プロジェクト番号 JGN2P-A21010)

研究機関: 日本電気(株)第2ネットワークソリューション(事)

研究開発成果:

■ NGN 技術の実効性及びアプリケーションの有効性の検証

NGN アプリケーションとして、映像配信サービス及び HD-TV ビデオ会議システムの動作確認を行い、品質確保技術(QoS)の有効性を証明した。

■ PSTN 接続に係わる実行性の検証

SIP 端末と PSTN 端末との接続に成功し、既存交換機との接続を確認できた。国産 NGN 機器による、NGN マイグレーション(PSTN 接続)の実行性を証明することができた。

■ QoE 評価基準のための有益なデータ取得

ネットワーク品質(QoS)と映像品質(QoE)と関係进行分析し、客観的映像品質測定値(MOS_V)と主観的映像品質測定値(MOS)との相関関係を分析した。

■ 現地通信事業者及び現地関係機関との関係構築及び関係強化

2010年3月23日(火)、ジャカルタ市にて、「実証実験成果報告会」を兼ねた技術セミナーを開催した。セミナーを通して、現地通信事業者及び政府関係機関と情報の共有及び関係強化を図ることができた。

プロジェクトのアピールポイント:

■ 国産NGNの高度な技術の訴求

国内NGNの市場にて実績のあるNGNサービス及び先端技術の先進性を訴求。

■ 国際映像配信サービス等のビジネスモデル開発促進に寄与

日本、インドネシア国間における企業向け社会インフラの改善ソリューションの提供。

■ 産学官連携による国際実証実験

インドネシア政府、バンドン工科大学、及び現地通信キャリアとの連携による実証実験。本実証実験により、関係者の中で情報共有、人的交流の活性化推進。

プロジェクトの自己評価:

■ 「覚書」

2カ国間における「覚書」締結には多大な時間を費やしたが、日本国総務省、現地大使館等のご支援により、実証実験は予定通り実施され、2010年3月末に無事終了した。

■ 「成果」

単年度の実験という制約があったが、予定していた全ての項目を実施することができた。関係各位のご協力、ご支援に感謝する。特に、国産IMS/NGNの有効性をインドネシア国へ訴求することが出来たことが最大の成果である。以上